

8月11日(火)「金沢ニューグランドホテル」にてZC訪問例会が開催されました。334-D地区4R3Zゾーン・チェアパーソンL.城輝雄様、地区マーケティングコミュニケーション委員L.有田智史様の2名にご参加いただきました。



会長挨拶では、桑島会長から「ここ数日コロナウイルス感染者が増えておりますが、経路不明者は少なく、緊張の中にも少しの安心があります。今例会はレベル1ということでテイクアウト例会とし、割烹わ田さんのお弁当をお楽しみください。本日はZC城輝雄L.有田智史L.にお越しいただいております。城輝雄L.には、国際協会、地区そしてゾーン、各クラブからの要望の狭間の中でいろいろ細部にわたり対応し、お気遣いいただき、ご奮闘されていることに深く感謝申し上げます。」とご挨拶がありました。そして、最後に、皆様の参考になる言葉として『神は細部に宿る、悪魔も細部に宿る、真実も細部に宿る』を紹介されました。



ZC城輝雄L.のご挨拶では、「今期キャビネット方針は、①環境保全活動②LCIF③会員増強④FWTの4つです。環境保全活動では、気候変動などを考えると、この取組は非常に重要で、金沢東LCは卯辰山清掃整備という重要な環境保全活動を行っていることを聞いております。LCIFに関してはさらなる延長が決まっています。会員増強については、各クラブ数名の増員をお願いしておりますが、今期は特に退会者を出さない取組が必要と感じています。FWTでは、女性会員の増強は時代の流れでもありと感じています。」と4つの方針についてご説明いただきました。また今期は「優しい心」「信頼」が花言葉の花菖蒲をモットーにしているそうです。最後に、「ガバナー公式訪問合同例会のご協力と共に、卯辰山ウォークラリーでの、金沢東LCの皆様のご指導ご協力をよろしくお願い致します。」とご挨拶いただきました。

委員会アワーでは青少年育成委員長永野琢也L.より、今年度事業として、①新事業「フットサル」②新春書き初め・かるた大会について説明がありました。「フットサル」は11月15日(日)に内灘町で、書き初め・かるた大会は2021年2月7日(日)にそ

れぞれ開催することが決定しています。

《本日のお食事・・・割烹わ田さんの「特製二段弁当」でした。》



中山恭一L.から『ここ数か月で思ったこと』～始まりはレインコート～と題して、メンバースピーチがありました。中山L.はウレタンやゴムスポンジを加工して工具収納ケースや緩衝材等を製作する会社を経営されていますが、コロナ禍の中、防護エプロンを製作するようになった経緯とその中で感じたことや学んだことをスピーチいただきました。

「4月18日、野村前会長から病院で不足している防護服の代用品としてレインコートを集めているとの電話があり、防護エプロン製作の構想が動き出しました。桑島会長や松尾L.の迅速な対応により、病院関係者と製品化に向けたやり取りが始まり、試作品について高評価をいただきましたが、その中で“どこで作られているかわからなかった”と言われました。ニーズ側がシーズの所在を知らないことで医療資材不足を招いている実情が垣間見えたが、ニーズとシーズが一致したことで量産に向けた開発にスピード感を持って取り組むことができました。病院関係者とのやり取りの中で、医療現場と自治体、報道とで物資不足の認識の違いがあることや、公立病院であるが故に購入・納入方法について一定の縛りがあることを知り、緊急事態下ではもっと柔軟な動きができればともどかしさを感じました。その一方で、野村前会長をはじめメンバーの行動力は凄く、見習わなければと思いました。防護エプロン開発に約一か月半を要したものの、12日間程で製品化することができ、当社スタッフも本業と違う分野に挑戦し、仕事に使命感を持つことで、スピード感、責任感が高まったことを実感しました。」最後に、クラブとしてどのような社会貢献をしていくのか意志を持ち、メンバーのスキルを把握・整理して我々のシーズを発信し、スキルを求めている方にスムーズに提供していくというマッチングの手段を考えておくことが必要ではないかと述べられ、スピーチを締め括られました。

(記事 計画委員会)

